

創作便り

2023年2月3日発行 第174号

今月は、作業療法「創作」の時間の御紹介です。

ある日の作業療法の時間をご紹介します。

午後2時をまわる頃は、大きな窓から暖かな日差しが差し込むデイルームで、午後のゆったりとした時間が流れています。フロア全体に懐かしい昭和歌謡が流れ始めると、あちらこちらから、メロディーにのせてロずさむ声が聞こえてきます。

病棟にて感染拡大防止対応がとられている場合は活動への制限がありますが、通常の場合では、まずは患者様が落ち着いて活動できる場所へご案内してから、可能な範囲で選択肢を用意したうえで、活動をご提供します。



こちらの方は、塗り絵に取り組まれています。活動へお誘いする時には「私は、お金を持ってないけどいいの?」と聞かれましたが、「大丈夫!〇さんが仕上げてくれた塗り絵を私がお金を払って買うから*^^*」と答えると(もちろん冗談と分かるように伝えていますが^^)、「アッハッハ そんな~私の塗り絵なんてね(笑)」とにこやかに場へ来てくださり、「さて、どれをやりましょうか」と意欲的に取り組まれていました。

こちらの方は、ロールモザイクを立てる作業に取り組まれています。大作をいくつも仕上げている方です。題材は季節に合ったものなどを、作業療法士と相談して決定します。下書きはスタッフ側で行いますが、立てる作業は、難しいふち取りも一からご本人が行っておられます。

根をつめると負担になることもあるようなので、その日の体調なども考慮し、必要あればスタッフが補助しながら、進めていきたいと考えています。



こちらの方は、ジグソーパズルに取り組まれています。活動に参加することの意義をよく理解されている方なので、活動の時間にこちらが奮めることやお願いすること、大抵のことは快く引き受けてくださいます。

この頃調子が上向きとのことで、病棟職員さんが用意してくれたジグソーパズルに取り組んでいただくことにしました^^

「難しいな~。こんなのやったことないからなあ。」とおっしゃりつつも、パズル完成へのヒントを一緒に考えながら行うことで、ひとつひとつ、ピースがはめ込まれていきます。

活動の時間に4回、取り組まれました。記事作成時点で、6割ほど出来上がっています! 完成が、楽しみです*\(^o^)/